

高齢者の生活環境上の安全・安心機能に関する認定制度

— SSS (トリプルS) 認定制度 —

制度の概要



制度の概要

- (1) 実施主体 : 一般社団法人シルバーサービス振興会
- (2) 認定単位 : 法人単位
- (3) 認定の対象 : 高齢者の生活環境上の安全・安心機能を有する製品・サービス等
- (4) 認 定 : 認定審査委員会
- (5) 有効期間 : 5年以内とし、製品・サービス等の機能の特性に応じて個別に定める
- (6) 表示方法 : 「マーク使用規定」に従って表示
- (7) 申請受付 : 随時
- (8) 審査方法 : 書面調査（場合によっては実地調査及び製品調査を行う）
- (9) 費 用 : 申請手数料、マーク使用料（売上高に応じて使用料を設定）

マークの名称・デザインコンセプト



マークの名称

「シルバー＝高齢者」「スマート＝賢い」 ⇒

高齢者の製品・サービス等の賢い選択を支援する

マークデザイン

Silver（高齢者）を、Safety（安全）・Security（安心）によって支えるという三つのSを表現している

マークデザインコンセプト

- ・製品やサービス等を積極的に活用して自立した生活を送るというポジティブなイメージ
- ・高齢者が安全に、安心して、豊かに暮らし続けることができる社会をめざす姿勢
- ・高齢者が製品・サービスを通じて社会と繋がっていくというイメージ

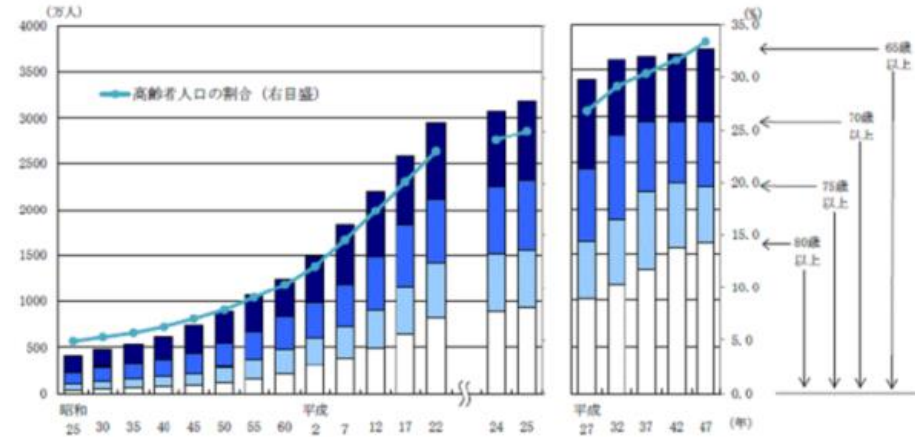


※商標登録出願中

制度創設の背景

- ✚ 急速な高齢化により、前例のない高齢社会への道を進むことで（図1）、高齢者向けの市場が拡大し、高齢者へ与える影響が大きくなるなか
- ✚ 高齢者の側が既存の製品・サービスに合わせて利用することになるなど、必ずしも、全ての製品・サービスが高齢者やその家族が利用しやすいものとは言い難い現状がある。

図1 高齢者人口及び割合の推移



資料：昭和25年～平成22年は「国勢調査」、平成24年及び25年は「人口推計」
平成27年以降は「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」出生（中位）死亡（中位）推計（国立社会保障・人口問題研究所）から作成
注）平成24年及び25年は9月15日現在、その他の年は10月1日現在

- ✚ 高齢者の特徴として、運動機能の低下などの身体的変化だけではなく、活動意欲の低下などの精神的な変化、退職や家庭環境の変化（死別など）などによる社会的変化の特徴が挙げられている。
- ✚ 「シルバーサービスの健全な発展と質の確保」に取り組んできた一般社団法人シルバーサービス振興会は、民間の立場から、高齢者やその家族の暮らしや環境を十分理解し、利用者本位の目線で考案・開発され、安心して安全な機能を持ち、かつ、近づきやすさ、親しみやすさであるアクセシビリティに配慮した製品・サービス等を認定し広く発信していく制度が必要と考えた。

趣旨・目的



高齢者は…

- 老化によって心身機能が低下し、個人差はあるものの、進行しながら継続し、長期化してしまう。
- これに伴い日常生活や住環境への不具合が生じ、生活場面における不安や危険が増大する。
- 多様なサービスや製品の購入にあたって、判断の目安となる基準や情報等が不足している。

社会は…

- 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、安全で、安心な生活環境を整えていくことが求められている。
- 高齢者の自立を支援し、高齢者自身による選択（自己決定）が適正に行えるよう支援することを目的とした、公正で信頼性の高い情報提供の仕組みを構築していくことが求められている。



**高齢者の生活環境上の安全・安心機能に提供される各種製品やサービス等について、
公正な認証を行い、これを表示する仕組みを設けることが必要**

認証基準と要件について

有効性に関する基準

高齢者に発生しうる心身機能の低下に対して、効果の有効性が立証できること。

■下記のいずれか、もしくは全てを満たしていること

- (1) 学会等で立証されている証拠資料
- (2) 試験機関における実証実験結果
- (3) その他製造者による証拠資料
- (4) 法令規定等の適格性の証拠資料

安全性に関する基準

製品・サービス等の内容について、高齢者が使用するのに安全であると立証できること。

■下記のすべてを満たしていること

- (1) シルバーサービス振興会倫理綱領の遵守
- (2) 高齢者を対象とした試験等における安全性を証する資料
- (3) 高齢者の利用を想定したリスクアセスメントの実施
- (4) 衛生管理上、問題とならない
- (5) 認証基準に示す法規、基準、規格の遵守
- (6) 賠償資力の確保
- (7) 消費者保護への姿勢と具体的取組み体制（製品・サービス等に関する問合せ・相談窓口の設置等）

安心性に関する基準

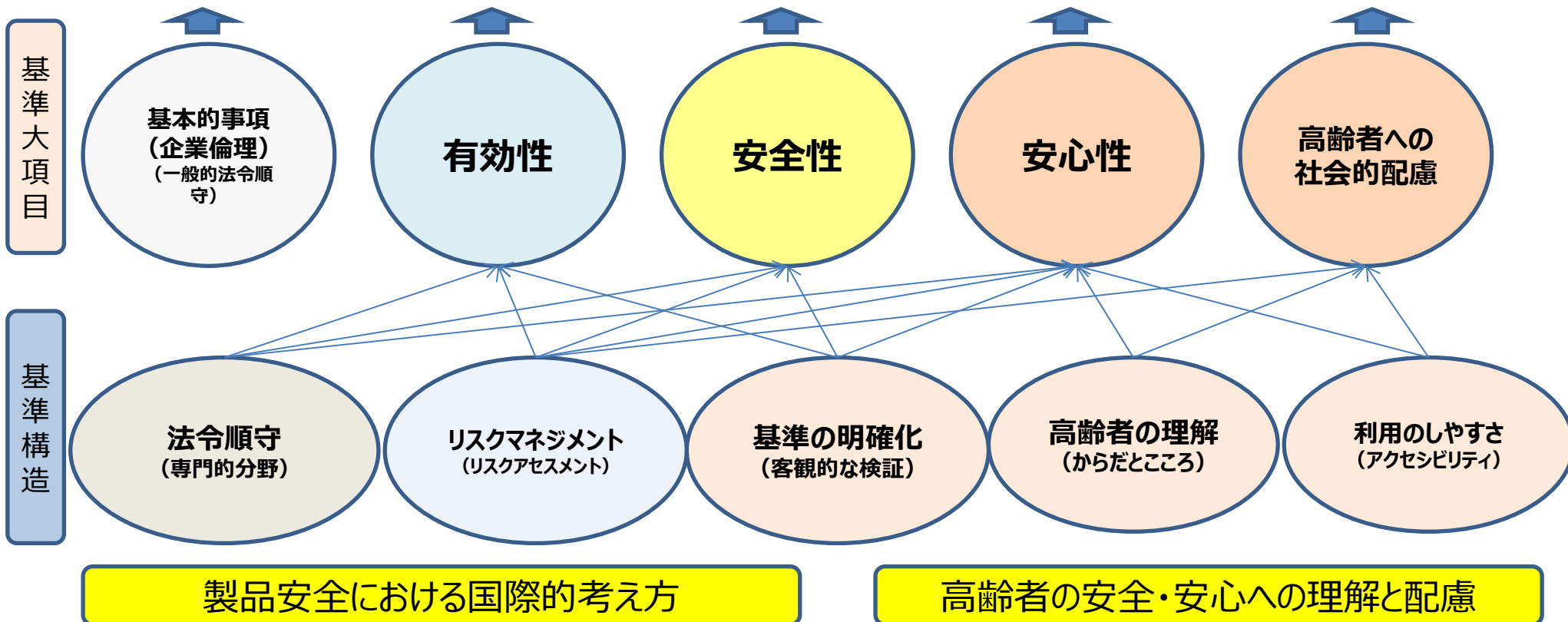
事業者のコンプライアンス体制、製品・サービス等の正しい使用方法の周知等、規範的な安心機能が備わっていること。

高齢者への社会的配慮

- 高齢者の心身機能に関する基礎的学習の機会
- 高齢者向けの製品、サービス等の開発における事業者の社会的責任

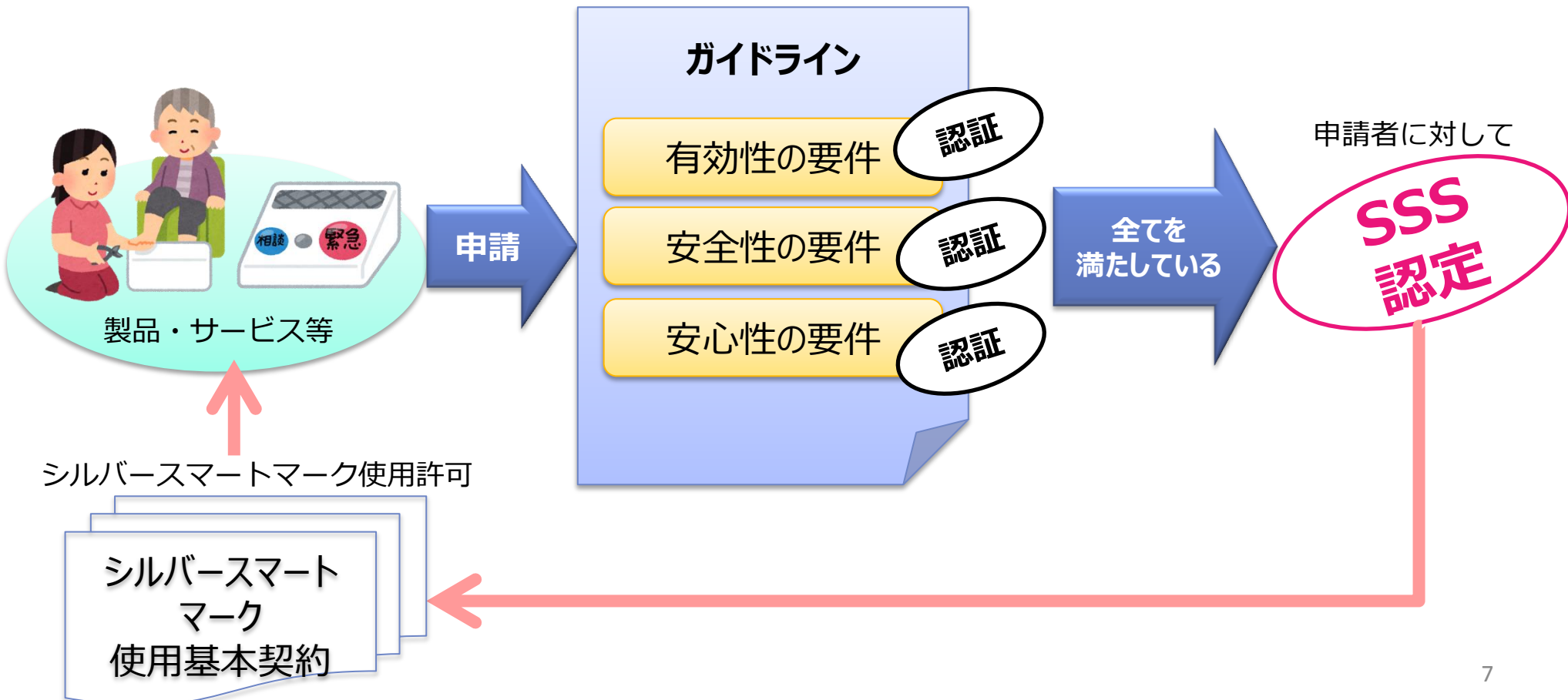
「認証基準」の設計上の基本的な考え方

- ①**基本的事項** → 企業倫理の確立、一般的な法令順守など、社会的信頼が確保されている
- ②**有効性** → 製品・サービス等そのものの機能の有効性に関する客観的な検証が行われている
- ③**安全性** → 製品・サービス等を高齢者が利用することを想定し、安全性に関する客観的な検証が行われている
- ④**安心性** → 製品・サービス等のそれぞれの専門分野における法令順守、品質管理の体制が整っている
- ⑤**高齢者への社会的配慮** → 製品・サービス等の利用者である高齢者を理解し、利用のしやすさに十分配慮されている

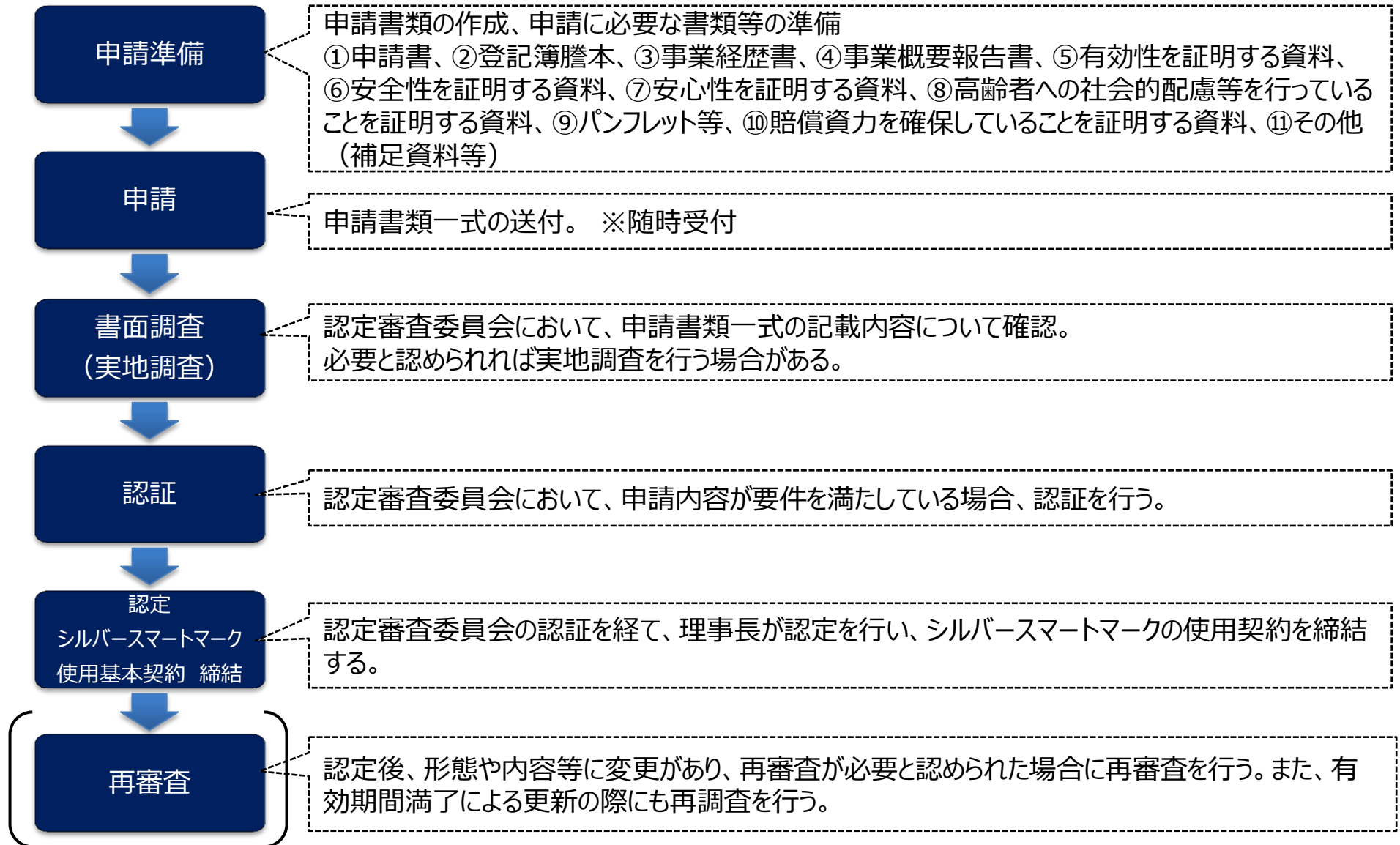


認定システム

- ガイドラインに認証基準として示す機能について、要件を満たしているか審査を行い、全ての機能について認証されれば、申請者に「SSS(トリプルS)」の認定を与え「シルバースmartマーク」の使用を許可する。

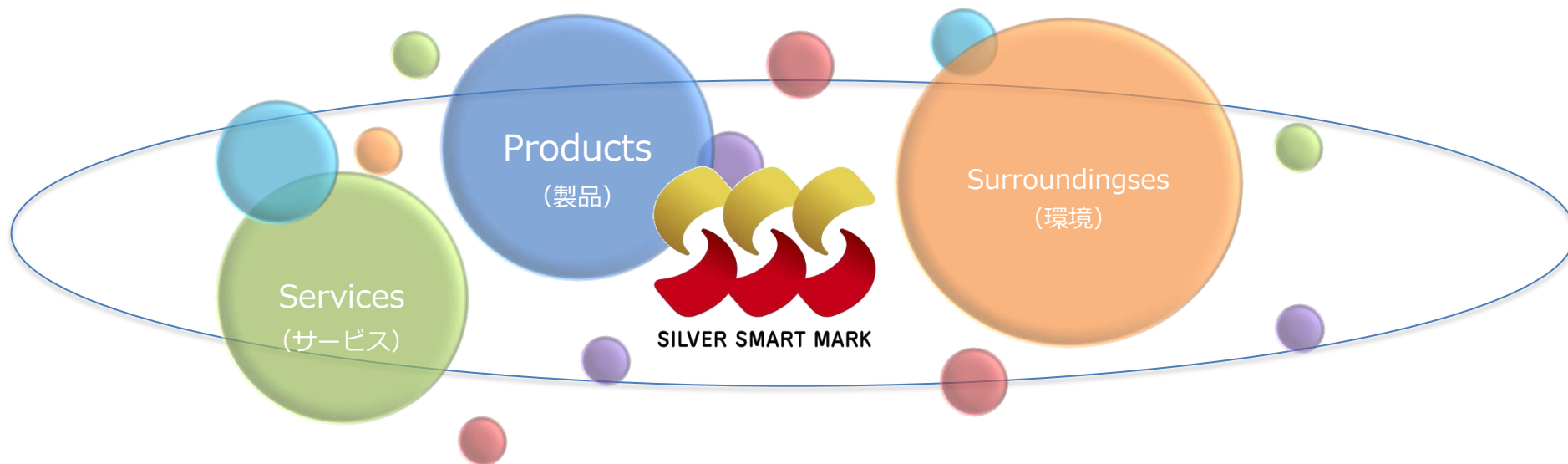


申請から認定までの手順



シルバーサービス振興会の役割

新しい発想に光を当て、新たな価値として創造し、その普及を支援すること



長期にわたる高齢期を乗りきるために、既成概念にとらわれない、新たな価値観をもつ高齢者を対象とした製品やサービスの創出、普及をSSS（トリプルS）認定を行うことで支援すること。

それは、世界中どこにおいても安心して豊かに歳を重ねていくことのできる社会の実現という、これまで高齢者をはじめ国民すべてが安心して暮らせる社会づくりを民間の立場から支えてきたシルバーサービス振興会の新たな役割である。

SSS（トリプルS）認定制度をもとにシルバーサービス振興会が今考えること

我が国の平均寿命は延伸を続け「人生80年時代」となった。これに伴い健康寿命も延び、高齢者の多くは、元気で、多様な価値観を持ち、豊富な知識やノウハウを活かしたセカンドキャリアを構築するなど、従来の「高齢者は支えられるもの」というイメージから、自ら主体的に、アクティブに生きる高齢者へと大きく変容しつつある。

しかしながら、一般的には、認知機能の低下、視力・聴力・筋力の低下といった加齢に伴う心身機能の変化に伴い、日常の暮らしの中では、たとえこれまでと同じ商品やサービスを利用していても、「生活のしづらさ」や「不安」、時には「危険」までをも感じてしまうことがある。

世界一の長寿国となった我が国は、高齢者が真に安全で安心して暮らせることを実感できる社会を目指さなければならない。そのためには、高齢者の日常の暮らしを支える商品やサービスにおいて、その開発段階から、高齢者の特性を理解し、その利用場面におけるさまざまなリスクへの対応が図られることが求められるとともに、そうした商品やサービスが適正に選択できる環境を整えなければならない。このSSS認定制度は、こうした高齢者の選択の支援として機能することを目的に創設された。

高齢期を迎えても、安全で安心な暮らしが継続でき、人生の成熟とともに歳を重ねることが楽しみになる社会。こうした社会において高齢者の暮らしを支える商品やサービスは、高齢者自身にとっての「新たな価値」として期待される。

SSS（トリプルS）認定制度をもとにシルバーサービス振興会が今考えること

我が国では、少子・高齢化に伴って総人口は減少傾向にある。中でも急激な「生産力人口」の減少に危機感が強まっており、今後、サービス業を中心として生産性の向上が求められつつある。一方、本格的な超高齢社会の到来が、社会経済における生産や消費に大きな影響を及ぼしつつあることから、高齢者マーケットへの事業者の関心は増々高まってきている。

しかしながら、人類が未だかつて経験したことのない超高齢社会において、高齢者マーケットにおいて求められる商品やサービスは、供給者である事業者にとっても、消費者である高齢者自身にとっても未知の領域であり、これまでの知識や経験、ノウハウだけでは測れない難かしさがある。

高い技術に裏打ちされたモノづくりや、利用者本位できめの細かいサービスを得意とする我が国が、どう超高齢社会に挑むのか。その動向は、世界各国からも高い関心を集めている。そして、前述した「高齢期を迎えても、安全で安心な暮らしが継続でき、人生の成熟とともに歳を重ねることが楽しみになる社会」において求められる商品やサービスの開発は、事業者にとっても「新たな価値」の創造にほかならない。

このSSS認定制度は、こうした事業者の新たな価値創造の支援としても機能することを期待して創設されている。

さらには、こうして開発された新たな「メイドインジャパン」は、国内にとどまらず、広く海外へと展開され、市場として成長することにも大きな期待がある。